

# 簡単アプリ『おーバス Bus-GO!』で一目瞭然！ おーバスは今どこ？いつ来るの？

「時間になってもバスがこない」「もう出てしまったのでは」と思ったことはありますか？『おーバス Bus-GO!』は、バスの現在地や到着時間

などの運行情報を、スマートフォンやパソコンから閲覧できるサービスです。とっても便利でカンタンなので、ぜひ使ってみてくださいね。

## 小山家のティータイム

通学する時、次のバスがいつ来るか不安になっちゃうよね。

おじいさんをバス停に迎えに行く時、到着時間がわかると便利ね。

スマホでおーバスBus-GO!を使えば簡単に確認できるよ。

おーバスBus-GO!って何じゃ？

バスの現在地や運行情報をWebで確認できるサービスだよ。

バスが近づいたらおうちを出ればいからギリギリまで寝られる！

お迎えに行くのにも便利ね！

とってもかんたん！

おーバスBus-GO!の使いかた

### 1 サイトにアクセス

スマートフォンのアプリや写真アプリを使って、QRコードを読み取ります。

まずはこのQRコードを読み込めば良いのね！

パソコンは「おーバス バスロケ」で検索または、こちらから <http://o-bus.bus-go.com/>

### 2 路線と停留所を選択

知りたい路線とバス停留所をリストから選択します。

路線を選択

停留所を選択

### 3 結果を確認しよう

バスの位置や到着時間の目安がわかります。

バスは今、あの辺りか

これは便利だね！

到着時間を確認

### 4 バス移動のお供に

※スマホの機種により操作方法は異なります。

スマホのブックマークに保存しておけば、いつでもどこでも確認できます。また、停留所の時刻表、運賃も確認できます。

おーバスがもっと身近になるのう

スマホにブックマーク

最寄りバス停を保存すれば、すぐに情報を確認できます

「迎えを頼まず、バスで帰ってみようかな」  
そんなバス初心者にも、地図と写真で解説します！

## 駅のバス停ってどこにあるの？

### おーバス乗り場案内・小山駅

地図上の数字は、右ページの「鉄道からおーバスへの乗り換え案内」の写真に対応しています。

1 羽川線のりば  
2 間々田線のりば  
3 泉川線のりば  
4 道の駅線のりば  
5 新市民病院線のりば  
6 渡良瀬ラインのりば  
7 高島線のりば  
8 城東中久喜線のりば  
9 土塔平成通り線のりば  
10 大谷中央線のりば  
11 小山駅東循環線のりば  
12 小山駅東口・新市民病院循環線のりば  
13 ハーヴェストワーク線のりば

### おーバス乗り場案内・間々田駅

地図上の数字は、右ページの「鉄道からおーバスへの乗り換え案内」の写真に対応しています。

1 間々田線のりば  
2 間々田西線のりば  
3 渡良瀬ラインのりば  
4 間々田東線のりば  
5 間々田西東線のりば

### 鉄道からの乗り換え案内・小山駅

1 改札を出て…

2 右(エスカレータ)側へ

3 横断歩道をジグザグに進むとバス停Aです

4 左(階段)側へ

5 連絡通路を通り抜けるとバス停Bです

6 自由通路を通過します

7 横断歩道を渡ります

8 横断歩道の先がバス停Cです

9 2つ並んだバス停が目印です

### 同・間々田駅

1 改札を出て…

2 ピンクの目印がバス停Dです

3 ピンクの目印がバス停Eです

おーバス波乱万丈・下  
これからの考えよう

平成一四年度に路線から運行がなくなった「おーバス」は、平成一三年度におおまか現在の運行体制に。小山の街は今日14の路線とテーマバスでカバーされ、交通空白地域も解消されて、市内全域の移動が可能になりました。平成三〇年度には年間利用者数が七〇万人を超え、令和元年九月には、累計利用者数が七〇万人を超えました。

背後には不断の工夫があります。新市民病院の移転に合わせて路線を見直し、利用者の多い路線を大型バスにしたり、バス現在の位置がスマホでわかるシステムを導入したり、昨年一〇月からは、画期的な割引率の定期券「noroca」も発売中です。

しかし令和二年現在、乗客からの運賃収入は、まだ運行経費を満了するには足りません。そのため、不足分を市が補助して運行しているのが実情です。それでもなお、小山に暮らす私たちの一人ひとりが、おーバスを維持し、さらには育てていくべき理由があります。

バスなどの公共交通が充実していれば、交通弱者(子供、お年寄り、運転免許のない人など)も、行きたいところへ思うように移動できます。クルマで行ける場所だけが栄えるのではなく、街の賑わいもいえる商店街の活性化も期待できます。超高齢化社会の問題はどのように解決していかねばなりません。その人も、いつでも移動できるわけではなく、「乗る」という、心強いデータがあります。さらに日頃のバス利用は適度な運動をうながし、健康寿命を延ばしてくれます。加えて、環境問題の観点からも、バスはクルマに比べてCO2削減効果が高いと証明されています。

「おーバス」移動手段・街の賑わいの良い関係を考えていくこと、コミュニティ・マネジメントといえます。おーバスは平成一四年度から、この考え方を地道に普及に実践してきました。そして、私たちが日々の移動のために「乗る」という、そのまわりのバスを維持し、成長に貢献し、ひいては小山という街への長期的な投資につながるのです。

市役所のしごきは語ります。「小山市民のすべての移動を一〇〇%として、クルマ移動は八九%を占める」と、norocaとして、平成一三年三月に運行開始した「渡良瀬ライン」では、栃木市の「ゆめあいバス」路線との接続が実現しました。「これは県初めての試みで、市をまたいで乗り続けるコミュニティバスなんです。もっと便利で、新しいこの街の未来につながる道を模索しながら、今日もおーバスは、小山を走っています。

## 腕・技・心 おーバスを支える人々



おーバスの運行はたくさんの方々によって支えられています。今回訪ねたのは、おーバスの歴史に詳しく、羽川線、間々田線、新市民病院線を運行している、友井タクシの皆さんです。

——皆さんの普段のお仕事を教えてください。

事業部長さん「社内でおーバス事業の全体を担当しています」

運行管理者さん「私は車両の整備や、緊急時の車両の手配などを行っています」

統括部長さん「タクシーとバス、両方を担当しています。毎日の乗降客数の集計なども私の仕事です」

運転士さん「羽川線、間々田線、新市民病院線のすべてを運転しています。「コミュニティ」バスだけあって、自然とお客さんとお話するようになるんです。乗り降りの時に「よろしく」「ありがとうございます」といわれるのがうれしいですね」

——皆さん、おーバスの導入検討時から関わっていらっしやるとか。

事業部長さん「バス事業者の撤退に伴って、市が運行するバス

の実証実験が始まり、その運行を担いました。ルートや料金を変えて、試行錯誤しつつ現在の形になっていったんです」

運行管理者さん「羽川線、間々田線は道幅が狭く、最初は会社所有の小さなバスを使っていた。その後、ポンチョという小型バスが発売されたので切り替えて運行開始したのですが…」

事業部長さん「開発されて間もなかったのに、当初はトラブルも多かったんです。自動車会社にデータを渡して、一緒に改善していきました。」

——コミュニティバスを築き上げる、いろいろなお苦労があったんですね。では、市民の皆さんへメッセージを。

事業部長さん「走行中のおーバスの位置を知らせるシステムが便利なので、お年寄りに使い方を教えてあげてほしいです(左ページ「おーバス Bus-GO!」)。周りの人のサポート次第で、おーバス体験はもっと良くなると思います」

統括部長さん「バスは行きたいところに真っすぐは行けませんが、そんな時、車窓に目を向ければ、きっと普段気が付かない発見があると思います」

## 連載コラム Oh!バスって意外!?

藤井聡

「クルマ、安いってホント？」編

例えば、平日の昼間、夕食の支度のために、何か口が離れたスーパーに買い物に行くとき。そのスーパーへはもちろんクルマで行けますが、バスでも行けるものもあります。こんな時、皆さんはクルマかバス、どちらを使いますか？

おそらく、ほとんどの人が「クルマ」とお答えになるのではないのでしょうか。クルマの方が早いし、いつでも出発できますし、その上、次のようにお考えになるかもしれません。「ガソリン代なんてたかがしれている。だけど、バスだったら何百円もかかってしまう。クルマの方が、断然、経済的——」

でもちょっと待って下さい。確かに、クルマの方が便利でしょう。でも、クルマの方が安い、というのはホントなのでしょうか？

普段、気になるのはガソリン代くらいかもしれませんが、でも、オイルやタイヤは定期的に換えないといけないし、保険や税金や車検代だって定期的に必要です。そして当然ながら、最初にはクルマの購入費が必要です。これらを全て考慮すると、例えば「中古で買った1000cc程度の小型のクルマを、後約1年分利用する」という条件でも、ざっと計算すれば1日あたり2千円程度になります。これに加えて、違反をしてしまえば罰金が必要ですし、車体を「擦ったり、ぶつけたり」してしまえば修理代が何万円、何十万円とかかります。そして大きなクルマの場合には保険も税金も高いですから、場合によっては、1日あたり3千円、4千円にもなってしまいます。これでは、毎日タクシーを使う方が安くあがりそうです。

そうなのです。

確かにクルマは便利です。しかし、そのためかなりのオカネを支払っているのです。ところが、私たちは、購入時や車検時に「まとめて」払っているのに、その「高価さ」に気がついていないのです。例えばたくさんクルマを持つ代わりに1台減らして、上手に「バス」を使うようになれば、家計はずいぶん助かるかもしれません。なんとと言っても、バスは、1日数百円で済みますから…

ふじい・さとし

1968年奈良県生まれ。京都大学卒業。同大学大学院工学研究科教授。専門は公共政策論。京都大学レジリエンス実践ユニット長。2012年から2018年まで安倍内閣において内閣官房参与を務める。「表現者クワイティオン」編集長。著書多数。